

第2学年音楽科学習指導案

平成23年9月21日(水) 第1校時

第2学年A級(男子19名, 女子19名)

指導者

石原 真理



1 単元 演奏の魅力を味わって

2 目標

- 楽曲を聴くことに興味・関心を持ち、進んで音楽活動を楽しもうとする。
- 楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取って聞き、自分の言葉で意見や感想を述べることができる。
- 主題の特徴を感じながら、ソナタ形式の曲を形づくる構造と曲想とのかかわりを理解できる。
- 指揮者による豊かな表現力や演奏の特徴を感じ取って聴くことができる。

3 指導観

- 本単元は、主題の表す特徴を感じたり、音楽の表す様子や情景を想像して聴いたりする活動を通して、さらに音楽の豊かさや曲を形作る美しさに対する感性を育てることをねらいとする。学習指導要領第2・3学年における鑑賞の指導内容として、(1)-ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。」とある。これを踏まえ、曲の構成やオーケストラの響きを味わったりすることで、幅広く鑑賞する能力を高めることができると思われる。

本教材ベートーヴェン作曲「交響曲第五番 ハ短調 第一楽章」はクラシック音楽の中でも有名な曲でありソナタ形式とは、古典派の時代に確立した最も重要な音楽形式である。1803年から5年かけてベートーヴェンによって作曲され、後の作曲家にも多大な影響を与えている。運命が戸をたたく様子を表した「タタターン」という第一主題に、おだやかな第2主題が繰り返し使われ展開していく構成は大変印象深く、音楽の広がりを感じ取ることができる曲でもある。

- 本学級の生徒は、1学年時にスメタナの「ブルタバ」について風景を思い浮かべながら鑑賞したり、物語に沿ってシューベルトの「魔王」を鑑賞している。しかし、本教材のように形式に則って作られた楽曲の特徴を感じ取ったり魅力を味わうことはこれからの学習によるところが大きい。
- そこで本単元では、オーケストラの魅力を通して、クラシック音楽への抵抗を和らげるようにしたい。また、曲への意識を高めるため、鑑賞する前に作曲者の生涯や曲が作られた背景を簡単に学ぶことで興味を惹きつけるようにしたい。また、ただ聴くのではなく、どの旋律に注目して聴くのかを確認することで興味・関心を持つこともできる。楽譜の読み取りが苦手な生徒には、教師が前で楽譜を拡大したものを提示してポイントを示したり、グループによる話し合いの場を設けることによって一人一人が特徴をつかみやすくするようにしたい。だが、曲想・豊かさ・感性的な側面については押し付けることなく、一方的な指導にならないよう心がけたい。交響曲第五番「運命」はおそらく、聴いたことのない人がいない程有名だが、一楽章を通して聴いたことのある生徒は少ないかと思う。そこで、交響曲の形式の一つであるソナタ形式を学習する中で2つの主題に注目し、それぞれどのような印象を受けたのかを感じ取りながら鑑賞できるようにしたい。

次時では、ベテラン・中堅・若手の指揮者3人による演奏を比較したDVDを鑑賞し、同じ楽曲でも指揮者によって様々な緊張感・呼吸・振り方等、曲の解釈や表現の違いがあることを学習する。次に、指揮者はどのような役割があるのかを実際に生徒が指揮を振って体感することで、同曲における様々な音楽の性格を味わうようにしたい。

4 教材

- 交響曲第5番作品67より「運命」第一楽章（ベートーヴェン）

5 指導計画

- 曲想を味わい、感性豊かな鑑賞力を求めて・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間
- (1) 作曲者の生い立ち・曲の背景を学習して鑑賞・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (2) 3人の指揮者の演奏を比較鑑賞し、指揮することによって表現の工夫が出来るようにする。・・・・・・1時間(本時 1/2)

6 本時の学習指導

(1) 目標

- 指揮の役割を感じ取った上で指揮を振り、指揮者になりきって表現の工夫が出来るようにする。

(2) 資料及び準備

ワークシート、黒板（ホワイトボード）、DVD、ビデオテープ、指揮棒、楽譜

(3) 学習指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間
1 前回の授業を復習する。	○ 本時の学習に入りやすいように、前回の復習をする場を設ける。	2分
2 本時の学習内容と目標を確認する。 指揮者の役割を感じ取り、指揮者になりきって表現の工夫をしよう。	○ 見通しを持って学習に取り組めるように、本時の目標を確認する。	3分
3 指揮者はどのような役割を果たしているのかをグループで話し合い、発表する。	○ 関心を持って学習できるように、指揮者の役割とは何かを問いかける。 ○ 隣の人と話し合いをし、発表する場を設ける。	8分
4 3人の指揮者による表現の違いを表したDVDを鑑賞する。 ○ ワークシートに記入して、数人発表する。	○ 3人の指揮者による指揮の振り方や特徴に気付くように、DVDを視聴してワークシートに記入し、意見交換する場を設ける。	18分
5 振り方のポイントを確認し、交響曲第5番の冒頭部分の指揮を振る練習をする。 ○ 5人の班を作ってから、それぞれの班で振り方の表現の工夫をするのか話し合い、ワークシートに書き込んだ後、指揮の練習をする。 ○ 班の代表者が、教師のピアノ伴奏に合わせて前で指揮をする。 ○ 気付いたことをワークシートに記入し、発表する。	○ 表現の工夫をするために、強弱・顔の表情・速さ等のポイントを提示し、班で話し合って指揮の練習をする時間を設ける。 ○ 指揮に合わせて教師がピアノ伴奏をする。 ○ 友達と意見を交換できるよう、指揮をして気付いたことを発表する場を設ける。 ○ 聴き手がどのような印象を受けたか聴き合うために、発表する場を設ける。	35分

6 「運命」を演奏している DVD を視聴する。 ○ 感想をワークシートに記入する。	○ 指揮者の役割と指揮者の意図や思いを感じ取るために、鑑賞する場を設定する。 ○ 本日の授業の感想をワークシートに記入する場を設ける。	45 分
7 本時の学習の振り返りをし、感想を発表する。	○ 指揮について何を学んだのか、何に気付いたのか意見交換できるように、発表する場を設ける。	50 分

7 板書計画

目標	
指揮者の役割を感じ取り，指揮者になりきって表現の工夫をしよう。	
指揮者の役割	3 人の指揮者の特徴
・	・ A
・	・ B
・	・ C
指揮を振るポイント	
・	
・	
・	
・	

「運命」第一楽章冒頭部分

♪ 表現の工夫も考えて、指揮で表してみよう。

速さ	強弱	ハの長さ

Allegro con brio

First system of the musical score, measures 1-8. The score is in 3/4 time with a key signature of two flats (B-flat and E-flat). It features a piano introduction with a forte (*ff*) melody in the right hand and a piano (*p*) accompaniment in the left hand. The melody is characterized by a series of eighth and sixteenth notes, creating a sense of urgency and drama.

10

Second system of the musical score, measures 9-15. The melody continues with a series of eighth and sixteenth notes, maintaining the dramatic and urgent character. The piano accompaniment provides a steady, rhythmic foundation.

16

Third system of the musical score, measures 16-22. The melody continues with a series of eighth and sixteenth notes, maintaining the dramatic and urgent character. The piano accompaniment provides a steady, rhythmic foundation. The system concludes with a final measure featuring a forte (*f*) dynamic.

ベートーヴェン作曲

～交響曲第5番作品67より「運命」 第1楽章～

2年()級()番 氏名()

(1) 3人の指揮者それぞれの特徴を書きだしてみよう

	振り方	速さ	曲の雰囲気
A			
B			
C			

(2)

指揮を振って気付いたこと	他の人の指揮を見て気付いたこと

♪ 今日の授業の感想